

2016年度帰国生入学試験「専門試験」「小論文」等の狙い・意図・採点のポイント

学科・専攻	専門試験(芸術学科は小論文)	面接	
	狙い・意図	狙い・意図	専門試験作品利用
日本画			—
油画	ブチーツスカートとTシャツを着た女性モデルをモチーフとして出題した。女性モデルがパイプ椅子に座っている状態を、各自がどのように解釈しイメージをひろげ表現できるのか。形態や空間、色彩感覚、独自性、創造性など表現の基礎を総合的に見るのがねらいである。	制作意欲、表現への取り組み方、これからの制作の場としてなぜ本学を希望したのか。学生生活におけるコミュニケーションは十分できるのかなど総合的に判断した。	●
版画			—
彫刻			—
工芸			—
グラフィックデザイン	鉛筆デッサン ・理解力 問題の把握、理解が正しいか ・伝達力 問題の目的や状況を正確に表現しているか ・発送力 問題を造形化するアイデアが優れているか ・描写力 構図、形、動き、光、量感などを描写することに必要な技術が優れているか ・個性 デッサンからうかがえる品格、感性に優れているか	面接 ・入学志望理由が明確であるか ・授業への取り組みの意欲があるか	×
プロダクトデザイン			—
テキスタイルデザイン			—
環境デザイン	環境デザインを学ぶ上で最低限必要な基礎的造形力、および基礎的デッサン力があるか。形、空間を把握し、平面上に表現する能力があるか。	本学科の授業を理解できるだけの日本語能力があるか。多摩美術大学、また本学科で環境デザインを学ぶ意欲、目的意識がはっきりしているか。日本での教育から離れていたことが、本学一般入試の受験にあたって著しく不利になっているかどうか。	×
情報デザイン メディア芸術コース			—
情報デザイン 情報デザインコース			—
芸術	出題内容を正確に理解し、論述の着眼点が的確であるか、論旨は明確で説得力があるか、文章を構成し、まとめる力があるか、といった点が判断基準となります。常識的にまとめあげた文章より、テーマに踏み込んだ独自の発想を期待しています。	面接 芸術学科で何を研究したいのか、受験生の知的能力や知的関心がその研究を進めていくのに十分か、芸術の理論や歴史に関する基礎知識はもっているか、などを判定します。	×
統合デザイン			—
演劇舞踊デザイン 演劇舞踊コース			—
演劇舞踊デザイン 劇場美術デザインコース			—

全学科共通小論文

- 1) 題:「橋」という題で、あなたの体験をふまえて800字程度の文章を書きなさい。
- 2) 外国での生活体験をふまえ、異文化の融合あるいは複合を美術とどう結びつけているかを見たい。
- 3) 文章が論理的であるか否か。上記のことを意識しつつ、自らの具体的体験を絡めながら述べられているか。